

事業計画書（実績書）

令和4年3月9日

団体名 京都産業大学

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記 入してください。)</p>	<p>フィールドワークを通じて地域住民、地域団体、企業等との交流を図るとともに、大学生を主体として、地域の諸資源（産物・技術・人材および歴史・景観など）を活用した新たな結びつけによる、課題の設定・可視化と解決策の提示を行う。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>京都産業大学むすびわざプロジェクトinあやべ</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>1,618,564円 (412,000円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費 に補助金が充当されるか記入 してください。)</p>	<p>当該事業の実施に係る移動経費、印刷経費など</p>
<p>事業の実施期日</p>	<p>令和3年6月28日～令和4年3月9日</p>
<p>事業の実施場所</p>	<p>綾部市内およびオンライン</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容につ いて記入してください。)</p>	<p>京都産業大学の教員および学生が綾部市をフィールドにして、事業者、地域住民、行政等へのヒアリングや交流を通じて以下の事業を行った。</p> <p>【寺崎友芳ゼミ】 「稼ぐ力に繋がるまちの情報発信」をテーマとし、地域資源を深掘りし、綾部市で移住者支援・観光振興に関わっている関係者へのヒアリングや来訪者アンケートを実施し、それらの結果を踏まえて課題の可視化と解決策の提示を行った。</p> <p>【松本和明ゼミ】 綾部市役所や市内の企業へのヒアリングおよび調査を行い、地域産業の現状と課題、振興策の現況、今後の方向性について質した。これらからの知見をふまえて、地域資源の利活用・新結合を基軸とする活性化プランの作成および情報発信の改善や新たな取り組みの提案を行った。</p> <p>【滋野浩毅ゼミ】 関係人口の創出拡大および地域住民の郷土愛醸成に寄与するため、綾部市内の関係団体と連携し、地域資源を活用した活性化策（地域の子供たちと学生との交流による学びの機会づくり、UI ターンの促進、地域の交流拠点の活用、観光振興に関する調査研究、特産品のPR方法、</p>

	<p>綾部市里山交流研修センター（綾むすび館）利活用促進）の検討および推進を行った。また、綾部市における広報や情報発信、地域メディアの課題や今後のあり方について、関係者と勉強会を行った。</p>
<p>補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果を、実績では得られた成果を記入してください。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部市の関係人口の増加</li> <li>・「若者・よそ者」視点による魅力と課題の発見を通じた地域住民の郷土愛の向上</li> <li>・「若者・よそ者」視点による情報発信提案等による綾部市の交流人口・移住人口増加・特産品販売増加への寄与</li> <li>・参加学生の京都府北部の魅力の気づきによる京都府全体への愛着度の形成</li> <li>・地域課題に対する参加学生の課題解決力、提案力の向上・大学の地域活動の認知向上</li> </ul>

## 収支予算書（計算書）

令和4年3月9日  
 団体名 京都産業大学  
 （単位：円）

収入の部	区 分	予 算 額	収入済額	明 細
	綾部市補助金	412,000	412,000	
	京都府補助金	412,000	412,000	
	自己負担	794,564	794,564	
	合 計	1,618,564	1,618,564	
支出の部	区 分	予 算 額	支出済額	明 細
	移動経費	491,150	491,150	交通費、ジャンボタクシー代
	会場経費	23,400	23,400	会場借上
	謝金	70,000	70,000	マップデザイン制作謝金
	諸経費	378,239	378,239	成果物冊子等印刷代、消耗品費、 学生保険代など
	その他	1,800	1,800	PCR 検査代
	人件費	653,975	653,975	職員労務費
	合 計	1,618,564	1,618,564	
差 引		0	0	